

各社の調査結果概要一覧

	展開先	海外展開の動機／プラス効果	国内雇用／現地・国内の役割	人事制度・人材育成での取り組み	人材面での課題
A社 ・自動車部品 ・大手	北米、欧州、 中国など全 世界	・当初は単独進出 ・現在は市場拡大にあわせて展開 ・インドは今後も成長。中国も十分な参入 余地	・営業、設計・開発部門でも国内雇用が 増加 ・必要な立ち上げ要員が減らない ・基本的な開発の要員は国内にいる	・人材管理の共通化（部長以上） ・幹部候補の育成プログラム ・留学生採用 ・言語化での技術伝承	・国内と同じような人材の厚みを形成 できない（特に技術者） ・人材育成には時間がかかる
B社 ・自動車部品 ・大手	北米、欧州、 中国など全 世界	・当初は単独進出 ・現在は市場拡大にあわせて展開 ・欧州展開により欧州系メーカーが進出す る南米でのビジネスチャンスを拡大	・営業や開発の仕事は増加 ・現地の需要には現地製造で対応 ・基礎的な設計。開発は国内で行う ・不良率は現地法人の方が高い	・人事制度の統一（管理職以上） ・留学生採用	・国内管理職の不足 ・日本人コーディネータ役が必要 ・調達での細やかな気配りをどう現地 社員に伝授するか
C社 ・電機 ・大手	北米、欧州、 中国など全 世界	・海外市場拡大にあわせて展開 ・東南アジアを始めとする新興国への参入 は国内外の各社も必死	・海外を飛び回る事業リーダー層は増加	・グローバル人事制度（管理職以上） ・事務系はグローバル人材。若手の多 くを海外派遣 ・社長候補の育成 ・留学生採用	・現地法人での現地人トップの少なさ
D社 ・熱処理加工 ・中堅	タイ、マレー シアなど	・当初は取引先の勧誘 ・現在は現地で取引拡大 ・国内の取引が少なかった大手メーカーと の商談が成立 ・従業員のステップアップ機会に	・タイの技術力は日本の半分程度	・高卒以外の採用はすべてグローバル 要員が前提 ・留学生採用 ・現地トレーニングセンター設置 ・現地スタッフの日本での研修	・不具合対処など高度な判断は日本人 が対応
E社 ・機械部品 ・中堅	台湾、シンガ ポールなど	・当初の台湾進出は人的つながりが契機 ・積極的に海外に目を向けていく ・台湾への展開により、中国進出が容易に ・学生からの注目度上昇（採用力強化）	・技術指導要員としての本社の人材供給 センター的役割が拡大 ・現地生産・現地納品。国内工場は国内 での受注に対応	・新卒はすべてグローバル要員が前提 ・日本での技術指導 ・留学生採用 ・現地スタッフの日本での研修	・現地に日本人の品質管理役が必要
F社 ・電子部品 ・中小	中国	・取引先の勧誘 ・国内生産のコスト高 ・マレーシア進出（撤退）が中国への足が かり	・製造はすべて中国へ移転 ・開発・設計は国内本社が基本	・募集・面接時に海外勤務を条件に	・現地でゼロから設計・開発できるよ うになるまでの人材育成は困難

注：基本的に報告に掲載されているものを引用。一部、未掲載分もある。なお、記載がないからといって、当該企業が取り組んでいないわけではない（未確認、企業特定のおそれ等から）。